




本事業への参加目的と主な取り組み

<p>参加目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定技能を主力とした組織づくりの実現 ⇔特定技能2号の誕生で解決したい！ 	<p>主な 取り組み</p>	<p>【継続して実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休憩を使った日本語の勉強会の実施 <p>【新しく実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に2回のテストに向けた実技の練習 ・自作の模擬試験の実施 <p> 上記の取組以外にも！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5S活動により安全衛生の試験に対応できたこと ・技術面では、日本人の指導が外国人に、先輩外国人から後輩外国人に行き届いていたこと ・早くからの評価制度の導入でレベルの高い人材が育っていたこと
<p>参加背景</p>	<p><外国人材の気持ちの変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定技能2号となり日本で長く働きたいと希望する外国人がでてきた。 ・エンジニアのベトナム人が奥さんと子供を連れてきたことで、家族自分も家族を連れてきたいという人が増えた。 <p><企業側の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や指導レベルの高い外国人材がでてきており、外国人に役職をつけていきたいと考えていた。 ・育成した人材の一部の人材は、特定技能となり給与水準の高い都市圏へ流出するという事態も起きていたため、長く因島鉄工で働きたいと考える人材を育てたかった。 	<p>成果</p>	<p>3名受験/全員合格</p>



因島鉄工を支えるカルチャーこそ、今と未来を作る

我々の「外国人材を受け入れる考え方・スタンス」とは・・・社長自らが実践し、従業員に浸透！！

- ・社員は日本人、外国人関わらず“家族”であり、外国人はもはや“なくてはならない存在”だという事を会社全体が思えること
- ・外国人材にも会社の考え方を伝え、理解してもらい、胸を張って仕事をしてもらうことが大切である
- ・重要なことは、仕事においても、日本人と同じ基準で評価する、同じ待遇をする

多国籍外国人同士の関係

- ・インドネシア人とベトナム人が一緒に日本語で会話をしながら肩を組んで帰っている。
- ・現場では日本語でコミュニケーションをとりながら作業しあっている。
- ・受入から現在まで26年間、問題が発生していない！

地域との関り

- ・寮の周りの人たちに自主的に挨拶をし、コミュニケーションをとっている
- ・畑の手伝いをして農家の方から野菜やスイカをもらい可愛がられている。
- ・近くの海岸清掃のボランティアなど、因島鉄工のTシャツを着て楽しみながら実施している。⇔地域の人とふれあう絶大なチャンス！

技能習得の支援

- ・昼休憩に自由参加の日本語教室を毎日開催
- ・母国語による専門用語集、マニュアル、張り出しを用意
- ・経験を積んだ先輩外国人をリーダーとして育て実習生を教える仕組みが形成されている。

福利厚生への支援

- ・定期的な社内イベントの開催（地域のお祭りへの参加や社員旅行、BBQなど）
- ・寮を一人部屋に改装等の快適に暮らせる環境を整備
- ・日本語検定や試験合格者へ昇給などのの特典

・・・だから
“インテツ”に
人が集まって
くる！！！！

<外国人材の生の声>

- ・特定技能で戻りたい。（26年前に受入れていた優秀な実習生も戻ってきてくれている。）
- ・特定技能で働いている外国人が自分の兄弟や息子を因島鉄工に入れたい。
（実際に現在特定技能1号で働いている者の弟が去年実習生として入社、息子も今後受入予定）
- ・自分たちに国は関係ないみんな家族でインテツ人なんだ。